

① 業務改善事例	○
職場ドック該当事例	○
② 府民サービス向上事例	

チーム名	職場ドック推進チーム
担当者 【所属名】	富永、石塚、吉岡、岡藤、井関、上岡、川村、 福井、藪中、李保、加地、高藤、矢島 【給与厚生課・職員研修・研究支援センター】

タイトル	職場ドックの取組 ～不要なストレスのない支え合う職場づくり～
------	-----------------------------------

アピールポイント	個人へのアプローチから組織へのアプローチへと一歩進んだメンタルヘルス対策
----------	--------------------------------------

背景	<ul style="list-style-type: none"> ○近年、心の健康づくりの一環として、職場のストレス要因等を職場単位で見出し、改善していこうという取組が注目されている。 ○本府においても、平成23年度から全国に先駆けて実施している、全職員に対するストレス調査の結果、心の健康に影響を与える職場環境の改善の余地があることもわかってきたところ
----	---

改善内容	<ul style="list-style-type: none"> ○従来の心の健康相談、ストレス調査等の個人へのアプローチに加え、 ○職場環境の点検、改善を進める <p style="text-align: center;">「職場ドック」という組織へのアプローチを新たに実施</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">個人と組織の両面から、効果的なメンタルヘルス対策を実施</p>
------	--

成果	<ul style="list-style-type: none"> ○グループワークを通じて、自分の職員の良い点、改善したい点の思いを共有、共感できた。 ○実際改善自体により、不要なストレスの軽減につながった。 ○コミュニケーションが向上し、働きやすい職場づくりにつながった。 等々
----	---

今後の展開	○「職場ドック」の取組事例を全庁で共有し、不要なストレスのない支え合う職場づくりを一層推進
-------	---

職場ドックの取組

～不要なストレスのない支え合う職場づくり～

ストレス調査結果を踏まえ

従来の個人へのアプローチ

- ・心の健康相談
- ・全職員を対象のストレス調査

+

新たな組織へのアプローチ

- ・職員参加型・対話型の職場環境改善「職場ドック」の取組

個人と組織の両面から、
効果的なメンタルヘルス対策を実施

「職場ドック」の流れ

推進リーダーが参加・実施

職場ドック
推進リーダー
養成研修会

1次ドック
職場点検
(13職場選定)

専門家(職場ドックアドバイザー)

2次ドック わいわいワーク
職場の良い点・改善点の検討

アクションプラン(改善計画)
決定と実施

◆不要なストレスのない支え合う職場づくり
<H25> 推進リーダー養成 74名
改善実施 13職場・34改善事例



<職場交流>
改善事例報告会
「京カグランプリ」

職員研修・研究支援センターの取組

① 写真データの整理

センター独自導入のパソコンに、写真データ保存専用のフォルダを設置。
保存のルールを確認。

② 休憩時間中の休養スペースの確保

執務室内にある研修講師用の控室を、使用予定がない日は、休養等に活用することを確認。

③ 親睦会の活性化

親睦会を企画しやすいよう、親睦会規約を策定し、親睦会費の徴収を開始。